



那須塩原・リンツ

学校間交流

那須拓陽高校 × エルムベルグ校

5月から那須拓陽高校とリンツの調理専門高校エルムベルグ校がオンライン交流を始めました！5月30日に行われた初めてのオンラインミーティングでは、お互いの学校と両国の食文化を紹介しました。実は、那須拓陽高校の食物文化科の生徒たちは、今年もオーストリア料理をベースにした創作料理に取り組んでおり、現在レシピを開発中です！そこで、創作料理のレシピに対してエルムベルグ校の生徒たちからアドバイスをもらうためにオンラインで繋がりました！

那須拓陽高校の生徒たちが創作料理の基にしたオーストリア料理はこちります：

- パラチンケン Palatschinken：オーストリアのクレープ
- リンツァー アウゲン Linzer Augen：姉妹都市リンツ市のクッキー名物
- ブフテルン Buchteln：ブリオッシュのちぎりパン
- モイスト チョコレート ケーキ Moist Chocolate Cake：チョコレートソースとホイップを乗せた濃厚チョコレートケーキ
- カースヌーデルン Kasnudeln：ヌードルの生地にクリームチーズ系の中身が包まれたパスタ
- プンシュクラップエン Punschkrapfen：少しラム酒が沁みたねっちり食感のスポンジケーキを厚いピンク色のアイシングに包んだ小さなケーキ
- クネーデル Knödel：ニヨッキのようにもちもちしたじゃがいもの生地に中身を包んで茹でたオーストリアの伝統的な料理

そこに那須塩原市産や日本独特の食材を使用し、様々な料理を生み出しました！



那須塩原・リンツ

姉妹都市交流

ホストタウンフェスティバルで

オーストリアブース

8月26日に東京で開催されたホストタウンフェスティバルに那須塩原市が参加しました！ブースではオーストリアとの交流をPRし、ステージではホストタウンレガシーについて市長と登壇させていただきました。



リンツ出身のピアニストのコンサート

9月8日にリンツ出身のピアニスト、クリストフ・トラックスラーが東京でピアノリサイタルを開きました。トラックスラーは以前那須塩原市でも演奏し、姉妹都市交流の協力者です！とても迫力があって、圧倒する演奏でした！

リサイタル後のサイン会では、記念に写真を撮ってもらいました。いつか那須塩原市でもまた演奏してほしいですね！



ワールドフェスティバルとまちなか交流センター「くるる」のもったいない市で オーストリアブースを設置！（予告）

10月19日（土）に黒磯駅前の割烹石山で那須塩原市国際交流協会が主催するワールドフェスティバルが開催されます！今年もまた様々な国の料理や催し物が楽しめる中、オーストリアブースでは道の駅「明治の森・黒磯」が作っているリンツアートルテを販売します！

10月27日（日）に開催されるまちなか交流センター「くるる」のもったいない市&ハロウィーンパーティーでもオーストリアブースを設置しますので、ぜひお越しください！お待ちしております！



那須塩原・リンツ



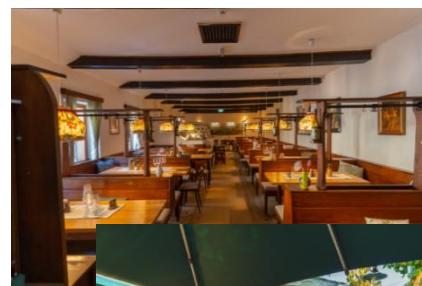
オーストリアの秋と言えば…



オーストリアの居酒屋「ホイリゲ」！

2019年にオーストリアのUNESCO無形文化遺産にも登録されたホイリゲは、オーストリアの伝統的な酒場で、日本の居酒屋のような存在です。ホイリゲは主に家族経営で受け継がれていて、ビールではなく自家製のワインをメイン提供しています。いわゆるワイン居酒屋です。それぞれのホイリゲでは、ワインに合う個性的な料理やメニューを出しています。

美味しいワインで「ブレッテルヤウゼ」を味わうのがホイリゲです。「ブレッテルヤウゼ」とは「ブレッテル」(=木製のま



© by Christian Kremsner via
Österreich Werbung



な板)と「ヤウゼ」(=軽食)合わせた言葉で、「プレートに乗せたしょっぱいおやつ・軽食」を意味しています。盛り付けられるのはハム、ベーコン、チーズ、ピクルス、生野菜、西洋わさびやディップ用のペーストで、



© by Andreas Hofer via
Österreich Werbung



© by Monika Reiter via
Österreich Werbung

ハムやチーズの種類を食べ比べたり、プレート上の他の物とも組み合わせたりするのが最高の楽しみです。子供やアルコールが苦手な方に人気なのはブドウ農家のぶどうジュースです。



© by Nina Baumgartner via
Österreich Werbung

自家製のワインを出す地方のホイリゲは、ブドウ農家に併設されているので、ワイン畑や緑に囲まれながら食事ができます。街に近いお店は、きれいに整備された中庭などでぎわった雰囲気を楽しむことができます。暑い夏が終わり、夕方に外に座っているのがちょうどいい季節に、オーストリアの温かさと居心地の良さを実感できるホイリゲで家族や友達と美味しい新酒やブレッテルヤウゼを味わうのがオーストリア人の人生の楽しみ方の一つです。



クリスマス文化の最も素敵な「アドベント」の準備！



© by Claudia Ebner via Österreich Werbung

オーストリアでは、11月は忙しい月です！それはクリスマスに向けて、12月24日の4週間前に始まる「アドベント」の時期の準備をしないといけないからです。クリスマスを盛り上げるために、アドベントリースやアドベントカレンダーを買ったり作ったりし、クッキー作りと照明飾りで手がいっぱいです。

アドベントカレンダーには様々な種類があり、12月1日～24日の期間、毎日サプライズが入っています。昔は絵が描かれて二重になっていた厚紙のカレンダーが一般的で、扉の後ろにはまた小さな絵が隠っていましたが、最近はお菓子や小さなおもちゃ、大人向けのカレンダーならメーカー品の物もあります。自分で誰かのために24個の小さなプレゼントを準備するのもできますが、意外と24個の物を集めるのは大変です（笑）



那須塩原・リンツ

教えて、ゆかりさん！

ウィーン大学の日本学部ってどんなところ?
～日本に興味を持つオーストリア人が全国から集まる場所～

2018年～2022年までウィーン大学の東アジア学科・日本学で勉強していました。日本学は韓国学と中国学に並んで大学でも小さい方の学部ですが、大学で日本語が勉強できるのはオーストリアでここだけです。

全国から集まる新入生は毎年約200人で、「お～なかなかいるじやん！」と思いまや、第一学期の半年で約半分がドロップアウトしてしまいます…。理由は様々ですが、難しすぎて勉強についていけないと想像していたのと違ったという場合が多いです。3年間で日本語の新聞を読めるようになるのを目標にして、常用漢字の音読みと訓読みを必死で覚えますが、私を含めて卒業しても新聞を読むのが困難です（笑）ただ日本語を勉強したいという思いで日本学部に入ったけど結局辞めていく人が多い理由が人文学の研究です。実は、日本学部のカリキュラムは半分が日本語、もう半分が研究に分かれていて、毎学期文学、言語学、宗教、社会などについて研究論文を作成しないといけません。学期が進んでいくほど留年や辞めていく人も増え、毎年卒業するのは大体10～20人ですが、学部が小さいおかげで、友達もできやすく、私の居場所を見つけられました。

日本語の会話を練習するために毎週水曜日にネイティブスピーカー同士がお互いの言語を学ぶのを助け合うドイツ語と日本語の「タンデム会」や飲み会が開かれます。そこにはウィーン在住の日本人たちと日本語学部の学生又は卒業生が日本語とドイツ語でお互い手伝いながら気楽な雰囲気で会話を練習します。ほかにも夏祭りや秋祭りを開催し、カラオケをしたり、日本食を準備したりします。



© Universität Wien



Japanologie

Institut für Ostasienwissenschaften
ウィーン大学東アジア学科・日本学



大学一年生の時に日本学部の友達とオーストリアで日本のカレーを作りました！

クイズ

ドイツ語の名前を積極的に取り入れているアニメはどれですか？

※複数選択可

- | | |
|--------------|--------------|
| A : 進撃の巨人 | C : 鬼滅の刃 |
| B : エヴァンゲリオン | D : 葬送のフリーレン |

発行：那須塩原市市民生活部市民協働推進課（担当：ミヨシ・アンナ・ユカリ）

事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社 108-2 TEL: 0287-62-7019

FAX: 0287-62-7500 Eメール：shiminkyoudou@city.nasushiobara.tochigi.jp

バックナンバー・ドイツ語・英語編：

[https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/kurashi_tetsuzuki/
shiminsankaku/kokusaikoryu/3/8553.html](https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/kurashi_tetsuzuki/shiminsankaku/kokusaikoryu/3/8553.html)



検索

那須塩原市海外姉妹都市ニュースレター

（参考）

日本語の名前を積極的に取り入れているアニメはどれですか？

（参考）

A, B, D